

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(医歯理工学先端研究特論)

下記のとおり大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください。

## 記

1. 講師 富山大学 学術研究部医学系 病態病理学講座  
山本 誠士 准教授
2. 演題 脈管難治性疾患に対する創薬の試み
3. 日時 2024年7月26日(金) 17:00~19:00
4. 場所 大学院講義室4(M&Dタワー9階)

## 5. 要旨

生理的条件下でのリンパ管新生は、血管内皮増殖因子(VEGF)-CとVEGFR3が主要な役割を果たす。一方、リンパ管の病態形成時に関与する分子群は未だ不明点が多い。指定難病のリンパ管腫(小児慢性特定疾病脈管奇形)の中で、超巨大嚢胞を特徴とする嚢胞性リンパ管腫は、増悪分子メカニズムが未だ特定されていない。治療方法としては切除と硬化療法があり、また近年上市されたシロリムスは治療成績向上という点で期待が大きい。しかし、治療成績のさらなる向上には、嚢胞性リンパ管腫の増悪分子カスケードを創薬標的とする必要がある。これまでに我々は、病態マウスモデルの作製と解析を行い、ヒト臨床検体の解析も実施し、Amphiregulin (AREG)が増悪責任分子であることを突き止めた。今後の展望として、AREGに対する分子標的薬の創出を行い、嚢胞性リンパ管腫の治療薬として実臨床で役立てたいと考えている。

病態生化学分野 小林 美穂  
(連絡先:内藤 恵 mnaito.bch@tmd.ac.jp 内線5449)